



概要	2
VG-800 の概要	2
INST (インストゥルメント) ブロック	2
EFFECT (エフェクト) ブロック.....	2
シリアル GK とは?.....	3
各部の名称とはたらき	4
フロント・パネル.....	4
リア・パネル／サイド・パネル (機器の接続).....	5
準備する	7
ギター／ベースの準備	7
機器を接続する	7
電源を入れる.....	7
お使いの楽器 (ギター／ベース) を選ぶ (MODE SETTING).....	7
出力端子に接続する機器を選ぶ (OUTPUT SELECT)	8
ピックアップの設定をする (GK SETTING).....	8
音量を調節する	10
チューナーを使う.....	10
演奏する	12
メモリーを選ぶ	12
プレイ画面について	12
INST (モデリング) の音だけにする (FX BYPASS).....	12
エディット編: INST	13
INST エディットの基本操作	13
INST を変更する	13
INST をエディットする	13

エディット編: EFFECTS	14
エフェクトをエディットする.....	14
エフェクト・エディットの基本操作	14
エフェクトを並べ替える	14
コントロール・アサインを設定する (CONTROL ASSIGN).....	15
コントロール機能を設定する (CONTROL FUNCTION).....	15
アサイン機能を設定する (ASSIGN SETTING).....	15
メモリーを保存する (WRITE).....	16
エディット編: MENU	17
MENU の基本操作	17
[1] ~ [5] つまみに好みのパラメーターを割り当てる (KNOB SETTING)	17
ディスプレイのコントラスト (明るさ) を調節する.....	17
メモリーの切り替えかたを選ぶ.....	18
シリアル GK 端子を使ってオーディオ信号を送受信する (GK AUDIO).....	18
工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)	19
オート・オフ機能を設定する	19
パソコンに接続する	20
パソコンに接続する (USB COMPUTER 端子)	20
USB ドライバーのインストール	20
オーディオ・インターフェースとして使う.....	20
VG-800 専用ソフトウェアを使う.....	20
外部 MIDI 機器を接続する	21
VG-800 から外部 MIDI 機器を操作する.....	21
外部 MIDI 機器から VG-800 を操作する	21
主な仕様	21

概要

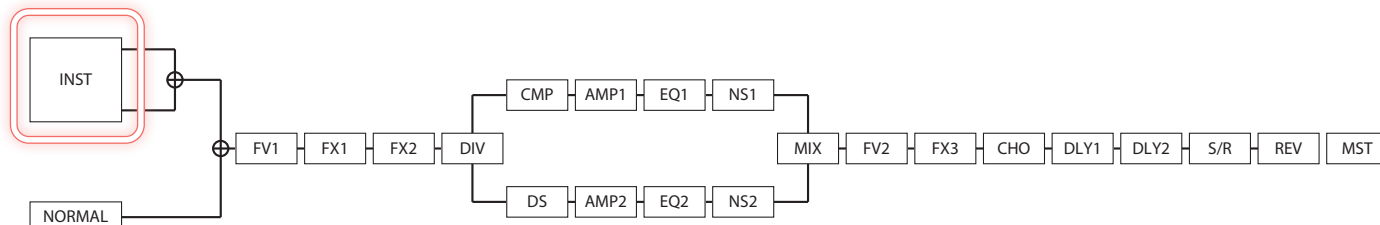
VG-800 の概要

VG-800 は、シリアル GK 方式のディバイデッド・ピックアップ（別売：GK-5 / GK-5B）に対応したモデリング・プロセッサです。

INST（インストゥルメント）ブロック

ディバイデッド・ピックアップからの演奏情報や、ギター／ベース音の入力をもとにして発音する音源部です。

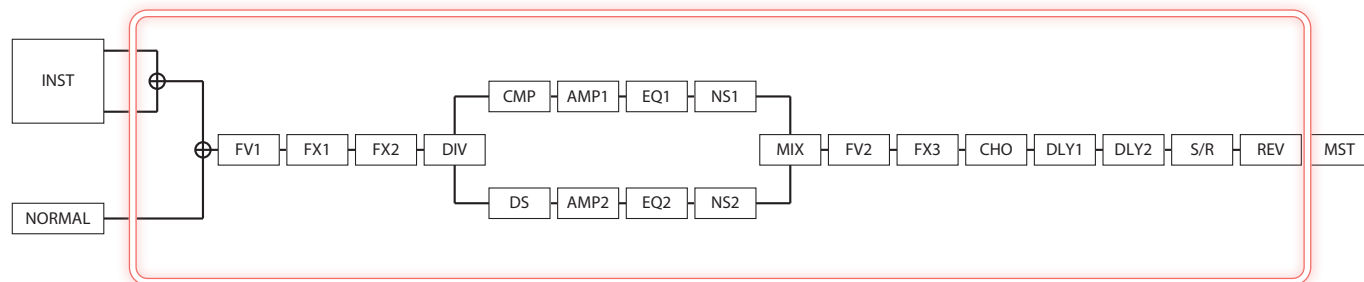
モデリングによるエレクトリック・ギターやアコースティック・ギターなどの音色に加え、オルタネート・チューニング機能により各弦独立にピッチを変えることができます。



EFFECT（エフェクト）ブロック

VG-800 には、高品質なエフェクトが搭載されています。

これらのエフェクトは、接続順を自由に変更することができます。



メモリー

INST の設定や各エフェクトの設定、コントロール／アサイン設定、GUITAR/BASS TO MIDI 設定をメモリーとして保存します。

メモリーは、各ブロックの設定など、お気に入りの演奏状態をまとめて保存することができます。演奏するときは、あらかじめメモリーの設定を保存しておき、切り替えて演奏すると便利です。

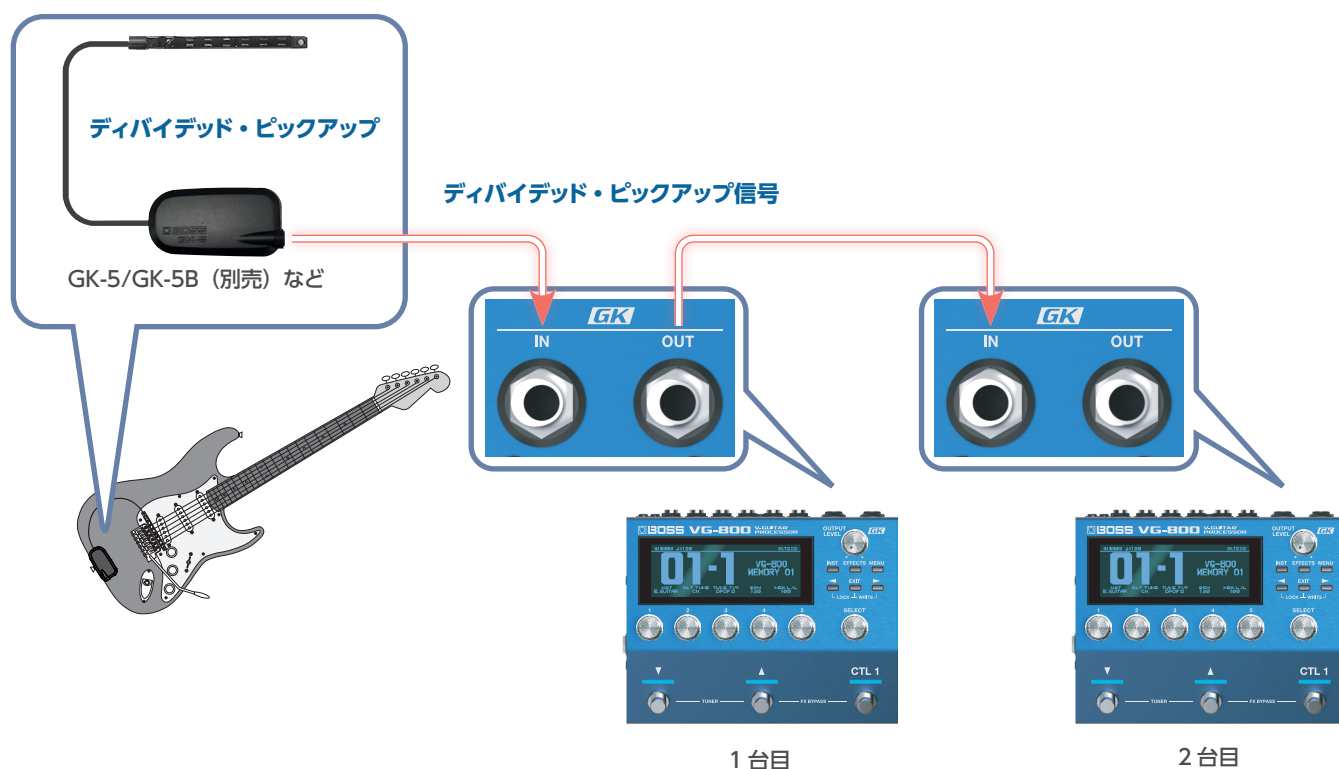
シリアル GK とは?

ディバイデッド・ピックアップの信号を対応機器と通信する技術です。

※ 専用のシリアル GK ケーブルで接続する必要があります。

1 台目の機器の GK IN 端子に入力したディバイデッド・ピックアップの信号を、2 台目の機器の GK IN 端子に送ることができます。また、1 台目の機器で作ったサウンド（ステレオ出力）を 2 台目の機器に送ることもできます。詳しくは「シリアル GK 端子を使ってオーディオ信号を送受信する（GK AUDIO）」（P.18）をご覧ください。

[接続例]



各部の名称とはたらき

フロント・パネル



1 ディスプレイ

VG-800 のさまざまな情報を表示します。

2 [OUTPUT LEVEL] つまみ

全体の音量を調節します。

3 [INST] ボタン

INST（モデリング）の音色を設定します。

4 [EFFECTS] ボタン

エフェクトの設定とエフェクトの接続順を設定します。

5 [MENU] ボタン

MENU 画面に切り替えます。

6 [◀] [▶] (PAGE) ボタン

ページを切り替えます。

7 [EXIT] ボタン

前の画面に戻したり、操作を取り消したりするときに使用します。

※ [EXIT] ボタンと [◀] ボタンを同時に押すと、KNOB LOCK 機能の ON / OFF が切り替わります。

ON にすると、プレイ画面（P.12）でのつまみの操作が無効になります。

※ [EXIT] ボタンと [▶] ボタンを同時に押すと、メモリーの保存やコピーをすることができます。

8 [1] [2] [3] [4] [5] [SELECT] つまみ

ディスプレイに表示されたパラメーターの設定値を選んだり、変更したりします。

9 [▼] [▲] スイッチ

メモリーを切り替えます。

※ [▼] スイッチと [▲] スイッチを同時に押すと、チューナー画面が表示されます。

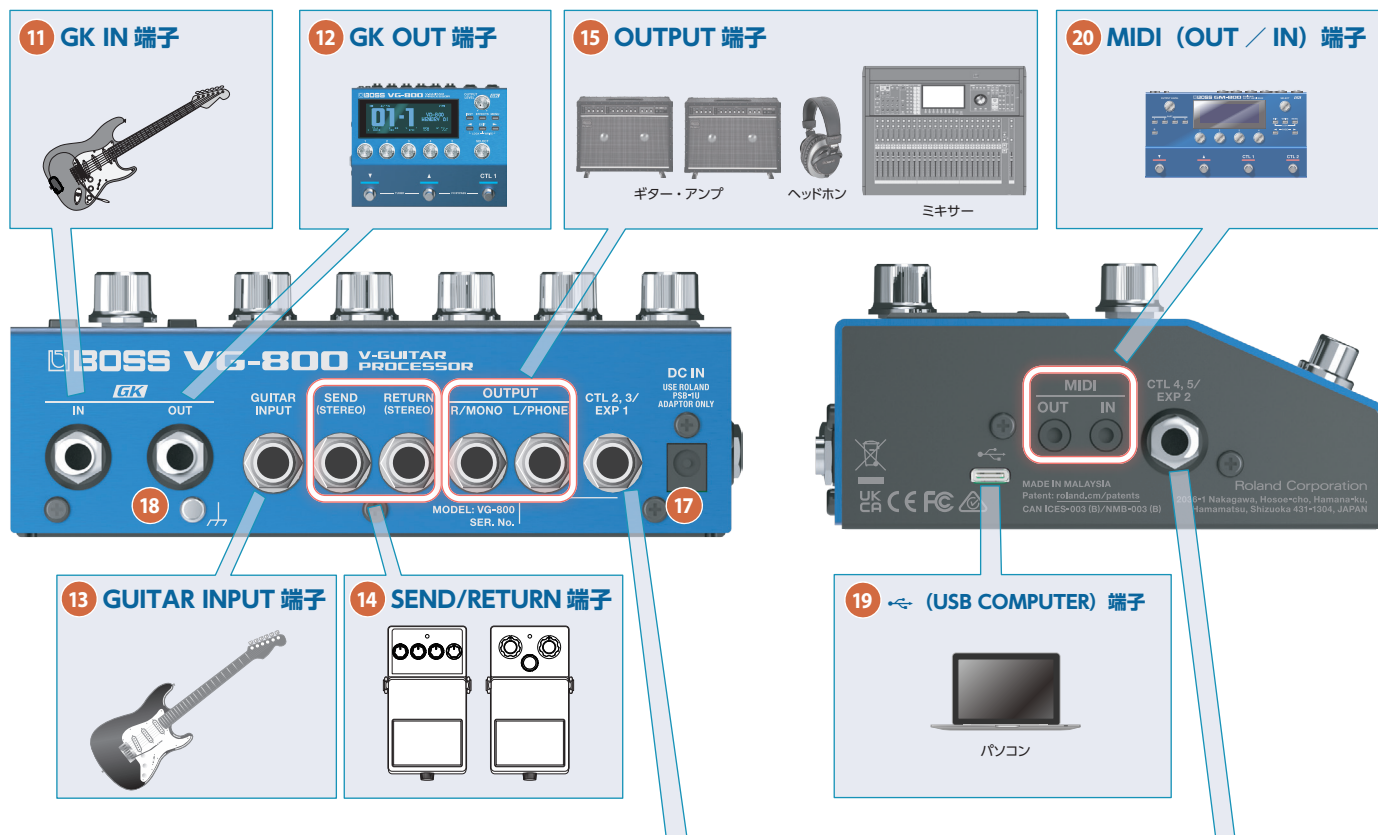
10 [CTL 1] スイッチ

メモリーごとに設定した機能をコントロールします。

※ [▲] スイッチと [CTL 1] スイッチを同時に押すと、INST（モデリング）の音だけにすることができます（P.12）。

リア・パネル／サイド・パネル（機器の接続）

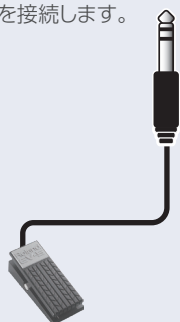
※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



16 CTL 2, 3/EXP 1 端子、CTL 4, 5/EXP 2 端子

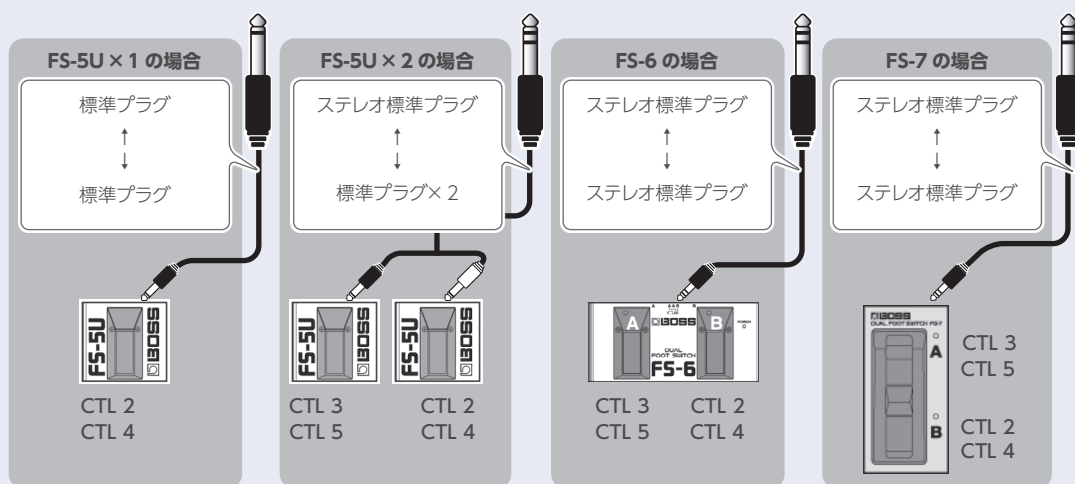
EXP1、EXP2 端子として
使う場合

エクスプレッション・ペダル
を接続します。



※エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-30、FV-500L、FV-500H、EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

CTL 2, 3、CTL 4, 5 端子として使う場合
フットスイッチを接続します。

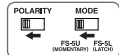


モード／ポラリティー・スイッチ

FS-5U



FS-6



FS-7



11 GK IN 端子

BOSS ディバイデッド・ピックアップ GK-5 / GK-5Bなどを装着した、ギターやベースを接続します。

※ 専用のシリアル GK ケーブル以外は、絶対に接続しないでください。

12 GK OUT 端子

VG-800 を複数台使用する場合や、GK IN 端子を搭載した対応機器を接続します。

13 GUITAR INPUT 端子

通常のギターを接続します。

14 SEND / RETURN 端子

外部エフェクトなどを接続します。

SEND / RETURN 端子はステレオ (TRS) に対応しています。

→ 接続について、詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

15 OUTPUT 端子

ギター・アンプ、PA (ライン) またはヘッドホン (別売) に接続します。

※ ヘッドホンは L/PHONES 端子に接続してください。

※ モノで出力するときは、R/MONO 端子だけに接続してください。

※ ヘッドホン使用時は、R/MONO 端子には何も接続しないでください。

16 CTL 2, 3/EXP 1 端子、CTL 4, 5/EXP 2 端子

エクスプレッション・ペダル (別売: EV-30、FV-500L、FV-500H、EV-5) やフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

→ 設定方法については、「コントロール・アサインを設定する (CONTROL ASSIGN)」(P.15) をご覧ください。

17 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ DC IN 端子は、電源スイッチも兼ねています。DC IN 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。プラグを抜くとオフになります。

18 機能接地端子

外部アースまたは大地に接地します。

必要に応じて接続してください。

19 (USB COMPUTER) 端子

市販の USB Type C® ケーブルで、パソコンに接続します。

専用のエディター・ソフトを使ったり、USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりしたりすることができます。

パソコンに接続するときは、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、BOSS のホームページからダウンロードしてください。

詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

20 MIDI (OUT/IN) 端子

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。

※ 接続するときは、TRS/MIDI ケーブル (BMIDI-5-35: 別売) をご使用ください。

※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

準備する

ギター／ベースの準備

- VG-800 のモデリングやオルタナイト・チューニングを使用するときは、BOSS GK-5 / GK-5B などの各弦独立した信号を出力できるディバイデッド・ピックアップ（GK ピックアップ）を装着したギター、またはベース・ギターが必要です。
- GK ピックアップの取り付けについては、GK ピックアップの取扱説明書をご覧ください。
- ネックの反り、フレットの摩耗による弦のビビリ、オクターブ調整のズレは、誤発音の原因になりますのでご注意ください。

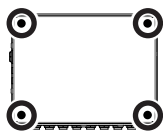
機器を接続する

→「リア・パネル／サイド・パネル（機器の接続）」（P.5）をご覧ください。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。



※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷付ける恐れがあります。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

電源を入れる

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※ 切るときは、逆の手順で電源を切ります。

1. ギター・アンプなど、本機に接続する機器の音量を絞ります。
2. OUTPUT 端子に機器を接続します。
3. ギターなどを接続します。
4. 付属の AC アダプターを本機の DC IN 端子に差し込みます。
本機の電源がオンになり、プレイ画面が表示されます。
5. ギター・アンプなど、本機に接続した機器の電源を入れます。

Auto Off 機能

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間（初期値：20 分）が経過すると、省エネルギーのため自動的に電源が切れます。

- 自動的に電源が切れると、保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 自動的に電源が切れないようにするには、設定をオフにしてください。ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。
- 自動的に切れた電源を再び入れるときは、本機の電源を入れ直してください。

※ オフ・モード（自動的に電源が切れた状態）の消費電力：0.1W

※ 詳しくは、「オート・オフ機能を設定する」（P.19）をご覧ください。

お使いの楽器（ギター／ベース）を選ぶ（MODE SETTING）

VG-800 にギターを接続して使うときはギター・モード（GUITAR MODE）、ベースを接続して使うときはベース・モード（BASS MODE）に設定します。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. [◀] [▶] ボタンを押して、「[MODE SETTING]」を表示させます。



3. [5] つまみを押します。

メッセージが表示されます。



4. [5] つまみを押して「OK」を選び、モードを変更します。

モードを変更しない場合は、[4] つまみを押して、「CANCEL」を選びます。

処理が完了すると、「Completed」と表示されます。

※「Executing…」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

5. VG-800 の電源を入れ直します。

メモ

- VG-800 は次回モードを切り替えるまで、選んだモードで起動します。
- 選んだモードによって、表示が異なるパラメーターがあります。
- メモリーは、ギター・モードとベース・モードでそれぞれ独立しています。

出力端子に接続する機器を選ぶ (OUTPUT SELECT)

- [MENU] ボタンを押します。
- [◀] [▶] ボタンを押して、「IN/OUT SETTING」を表示させます。



- [3] つまみを押します。

IN/OUT SETTING 画面が表示されます。



- [1] つまみを押します。

OUTPUT 画面が表示されます。



- [1] つまみを押します。

OUTPUT SELECT 画面が表示されます。



- [SELECT] つまみを回して、接続機器を選びます。

接続機器の種類について、詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

ピックアップの設定をする (GK SETTING)

VG-800 を常に最適な状態で演奏するために、ディバイデッド・ピックアップの設定をします。VG-800 はこの設定 (GK SETTING) を 10 種類保存することができます。

ここでは、ピックアップの設定を 01:GKSET 1 に保存する操作を例にとって説明します。

メモ

- GK SETTING は電源を切っても保存されます。演奏のたびに設定し直す必要はありません。
- これらの設定は、ディバイデッド・ピックアップを新たにギターやベースに取り付けたときや、ディバイデッド・ピックアップの高さを変更したときなどに必要です。

- [MENU] ボタンを押します。
- [◀] [▶] ボタンを押して、「GK SETTING」を表示させます。



- [2] つまみを押します。

GK SETTING 画面が表示されます。

- [SELECT] つまみを回して、1 行目にカーソルを合わせます。



- [1] つまみを回して、01:GKSET 1 を選びます。

ピックアップの設定が 01:GKSET 1 に保存されます。

メモ

ピックアップの設定は、手順 5 で選んだ番号に自動で保存されます。

ピックアップ・タイプを選ぶ

お使いのギター／ベースに装着されているピックアップを選びます。

6. [SELECT] つまみを回して、2行目にカーソルを合わせます。

GK SETTINGS				
GK SET				NAME
01:GKSET 1				
GK TYPE	SCALE	PU PHASE	PU DIR	
GK-5	ST	NORMAL	NORMAL	
GAIN	TU. STYLE	S1/S2	NORM GAIN	TRACKING
----	NORMAL	NORMAL	0dB	STABLE

7. [1] つまみを回して、ピックアップ・タイプを選びます。

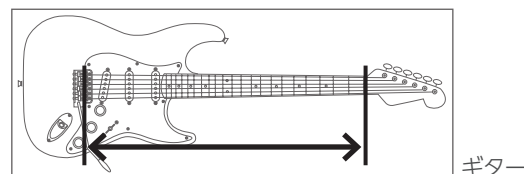
GK TYPE (ギター・モード)	説明
GK-5	BOSS GK-5 を使うときに選びます。
GK5KIT-6	BOSS GK5-KIT (6 弦) が内蔵されたギターを使うときに選びます。
GK5KIT-7	BOSS GK5-KIT (7 弦) が内蔵されたギターを使うときに選びます。
GK-3	Roland GK-3 を使うときに選びます。*1
GK-2A	Roland GK-2A、またはディバイデッド・ピックアップ (13 ピン) が内蔵されたギター (市販品) を使うときに選びます。*1
GC-1	Roland V-Guitar GC-1 を使うときに選びます。*1
PIEZO	ピエゾ・ピックアップ (フラット特性) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO F	ピエゾ・ピックアップ (Fishman) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO G	ピエゾ・ピックアップ (Graph Tech) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO L	ピエゾ・ピックアップ (L.R. Baggs) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO R	ピエゾ・ピックアップ (RMC) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1

GK TYPE (ベース・モード)	説明
GK-5B	BOSS GK-5B を使うときに選びます。
GK5KIT-B	BOSS GK5-KIT が内蔵されたベースを使うときに選びます。
GK-3B	Roland GK-3B を使うときに選びます。*1
GK-2B	Roland GK-2B を使うとき、またはディバイデッド・ピックアップ (13 ピン) が内蔵されたベース (市販品) を使うときに選びます。*1
PIEZO(B)	ピエゾ・ピックアップ (フラット特性) が搭載されたベースを使うときに選びます。*1
PIEZO G(B)	ピエゾ・ピックアップ (Graph Tech) が搭載されたベースを使うときに選びます。*1
PIEZO R(B)	ピエゾ・ピックアップ (RMC) が搭載されたベースを使うときに選びます。*1

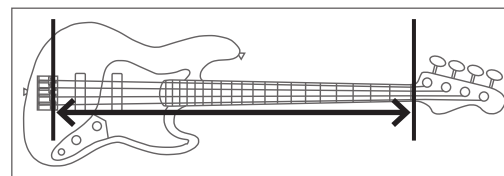
*1 GKC-AD (別売) と組み合わせてお使いください。

スケール長を設定する

お使いのギター／ベースのスケール長 (ブリッジからナットまでの長さ) を設定します。



ギター



ベース

8. [2] つまみを回して、スケール長を設定します。

ギター・モードをお使いの場合、スタンダードなストラトキャスター・タイプなら「ST (648mm)」を、レスポール・タイプなら「LP (628mm)」を選んでください。

ベース・モードをお使いの場合、スタンダードなジャズ・ベース・タイプ/プレジジョン・ベース・タイプなら「LONG (864mm)」を選んでください。

メモ

GK TYPE に「GC-1」を選んだ場合は、このパラメーターは表示されません。

ピックアップの配置を設定する (ベースのみ)

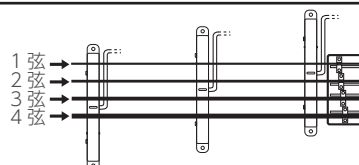
お使いのベースに取り付けたディバイデッド・ピックアップの配置に応じて、PU Pos を設定します。

GK SETTINGS				
GK SET				NAME
01:GKSET 1				
GK TYPE	SCALE	PU PHASE	PU DIR	PU POS
GK-5B	LONG	NORMAL	NORMAL	5STR
GAIN	TU. STYLE	S1/S2	NORM GAIN	TRACKING
----	NORMAL	NORMAL	0dB	STABLE

9. [5] つまみを回して、PU Pos を設定します。

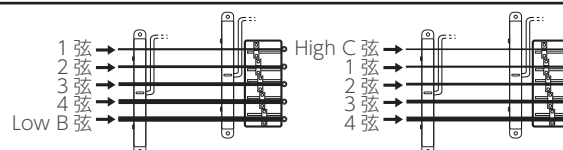
4 弦ベースの場合

PU Pos 4STR-1 4STR-2 4STR-3



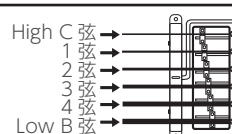
5 弦ベースの場合

PU Pos 5STR-Lo1 5STR-Lo2 5STR-Hi1 5STR-Hi2



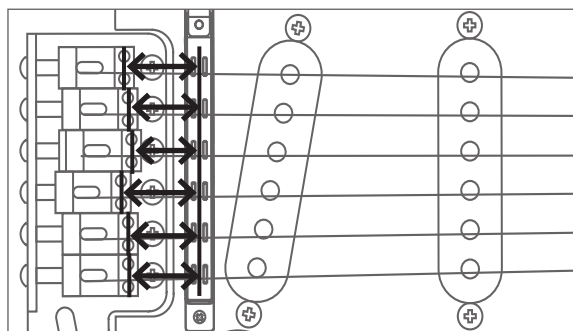
6 弦ベースの場合

PU Pos 6STR

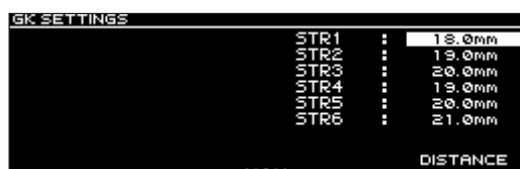


ブリッジからの距離を設定する

ブリッジからピックアップの中心までの距離を、弦ごとに設定します。



10. [◀] [▶] ボタンを押して、DISTANCE 画面を表示させます。



11. [SELECT] つまみを回して、DISTANCE を設定する弦にカーソルを合わせます。

12. [5] つまみを回して、DISTANCE の設定値を調節します。

メモ

GK TYPE に「GC-1」またはピエゾ・タイプのピックアップを選んだ場合は、設定は不要です。

ピックアップの感度を設定する

各弦とディバイデッド・ピックアップの距離が異なると、音量が変わります。ピックアップの感度を設定し、この音量差を補正します。

13. [◀] [▶] ボタンを押して、SENS 画面を表示させます。



14. [SELECT] つまみを回して、SENS を設定する弦にカーソルを合わせます。

15. [5] つまみを回して、SENS の設定値を調節します。

実際の演奏で一番強く弾いたときの感覚で弦を弾き、メーターが振り切れない位置になるように調節します。レベル・メーターが振り切れる場合はレベル・オーバーです。SENS の設定値を下げてください。

※ お使いのギター／ベースによっては、感度を低くしても、レベル・メーターが振り切れてしまう場合があります。このようなときは、ディバイデッド・ピックアップと弦との間隔を、規定よりもやや広めになるように調節してください。

16. 全弦の音量バランスを確認します。

全弦を通常の強さで弾き、特に大きい音が鳴る弦があったらその弦の SENS を下げ、各弦間の音量差が少なくなるように調節します。

※ 画面上のメーターの目印位置を目安にしてください。



17. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面 (P.12) に戻ります。

その他のパラメーターについては、『VG-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

音量を調節する

[OUTPUT LEVEL] つまみで、全体の音量を調節します。

チューナーを使う

VG-800 のチューナー機能には、1 弦ごとにチューニングするシングル・モード (SINGLE MODE)、全弦一度にピッチを判定することができるマルチ・モード (MULTI MODE)、トール・テンペラメントに対応したギター／ベース用の TT モード (TT MODE) があります。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. [◀] [▶] ボタンを押して、「TUNER」を表示させます。



3. [5] つまみを押します。

チューナー画面が表示されます。

[◀] [▶] ボタンで、チューナーのモードを切り替えることができます。

マルチ・モード



シングル・モード



TT モード



※ このモードはトウラー・テンペラメントに対応したギター用のチューニングモードです。レギュラー・チューニングのみ対応します。

メモ

【▼】スイッチと【▲】スイッチを同時に押して、チューナー画面を表示させることもできます。

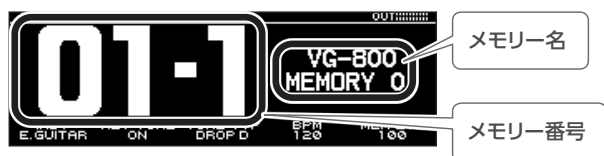
チューナーの各種設定

[2]、[3] つまみでチューナーの設定をします。

パラメーター	設定値	説明
[2]	PITCH	435 ～ 445 Hz 基準ピッチを設定します。
[3]	OUTPUT	MUTE チューニング中に音を出力しません。
	BYPASS	チューニング中に VG-800 に入力されたギターの音をそのまま出力します。
	THRU	現在のメモリーの音を出力しながらチューニングができます。

メモリーを選ぶ

1. [▼] スイッチ、または [▲] スイッチで、メモリーを選びます。



メモ

[SELECT] つまみを回してメモリーを切り替えることもできます。メモリー 3 つをまとめた「バンク」と 1 ～ 3 の番号（ナンバー）の組み合わせで、メモリーを切り替えることもできます。（BANK/NUM モード）

詳しくは、「メモリーの切り替えかたを選ぶ」（P.18）をご覧ください。

プレイ画面について

電源投入時に表示される画面を「プレイ画面」と呼びます。

プレイ画面は次の 3 種類があり、[◀] [▶] ボタンで表示を切り替えることができます。

メモリー番号を大きく表示



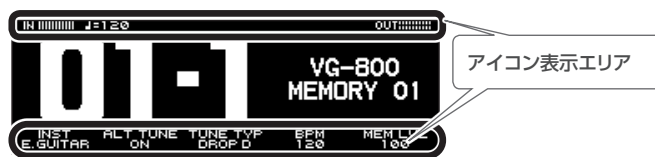
メモリー名を大きく表示



本体のスイッチ等にあサインされている機能を表示



プレイ画面のアイコン表示



表示	説明
IN	入力レベルを表示します。
OUT	出力レベルを表示します。
J=120	BPM を表示します。
[◀] [▶]	[◀] [▶] ボタンでどのページに移動したか表示します（MENU 画面など）。

メモ

プレイ画面が表示されているときは、[1] ～ [5] つまみに割り当てるパラメーターを変更することができます。

詳しくは、「[1] ～ [5] つまみに好みのパラメーターを割り当てる（KNOB SETTING）」（P.17）をご覧ください。

INST（モデリング）の音だけにする（FX BYPASS）

すべてのエフェクトをバイパスして、INST（モデリング）の音だけを確認したり、設定したりすることができます。

VG-800 のモデリング音だけを使い、外部のアンプやエフェクトと組み合わせた音作りもできます。

1. [▲] スイッチと [CTL 1] スイッチを同時に押して、FX BYPASS にします。

画面に「FX BYPASS」が表示されます。



FX BYPASS を解除するときは、もう一度 [▲] スイッチと [CTL 1] スイッチを同時に押します。

エディット編：INST

INST エディットの基本操作

INST エディット画面では、モデリングの音を選んだり、オルタネイト・チューニングを設定したりすることができます。

INST を変更する

音作りの基本となる INST を選びます。

※ INST の種類について、詳しくは『VG-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

1. [INST] ボタンを押します。

INST エディット画面が表示されます。



2. [SELECT] つまみを回して、先頭の項目にカーソルを合わせます。



3. [1] つまみを回して、INST を選びます。



※ [SELECT] つまみを押すと、INST のオン/オフを切り替えることができます。

INST をエディットする

INST を細かくエディットすることができます。

ここでは INST タイプが E.GUITAR のときの画面で説明します。

※ 各パラメーターについて、詳しくは『VG-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

1. [INST] ボタンを押します。

INST エディット画面が表示されます。



2. [SELECT] つまみを回して、設定したい項目にカーソルを合わせます。

ここでは「ALT TUNE」を選びます。



3. [1] ～ [5] つまみを回して、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。



[◀] [▶] ボタンで、エディットするパラメーターを切り替えます。現在のページが画面下部中央に表示されます。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ 項目によって、パラメーターの数やページ数が異なります。

エディット編：EFFECTS

エフェクトをエディットする

エフェクトの設定や、ブロック配列（エフェクト・チェーン）の並べ替えをすることができます。

各パラメーターについて、詳しくは『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

エフェクト・エディットの基本操作

エフェクトをオン／オフしたり、ブロックのパラメーターを調節したりすることができます。

1. [EFFECTS] ボタンを押します。

エフェクト・エディット画面（エフェクト・チェーン）が表示されます。



2. [SELECT] つまみを回して、エディットするブロックを選びます。

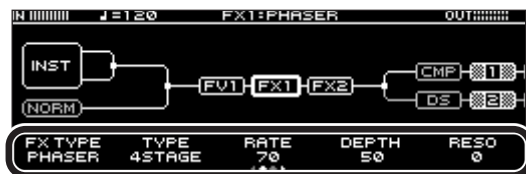
選ばれているブロックは、太枠で囲まれています。



※ [SELECT] つまみを押すと、選ばれているエフェクトのオン／オフを切り替えることができます。オフになっているエフェクトは、グレーで表示されています。オンにすると白で表示されます。



3. [1] ～ [5] つまみを回して、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。



[◀] [▶] ボタンで、エディットするパラメーターを切り替えます。現在のページが画面下部中央に表示されます。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ エフェクトによって、パラメーターの数やページ数が異なります。

エフェクトを並べ替える

エフェクトや出力、センド／リターンなどのブロックの配置を移動させることにより、エフェクトの順番を入れ替えたり、並列に配置したり、自由自在に配置することができます。

1. [EFFECTS] ボタンを押します。

エフェクト・エディット画面（エフェクト・チェーン）が表示されます。



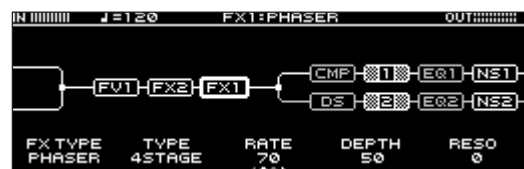
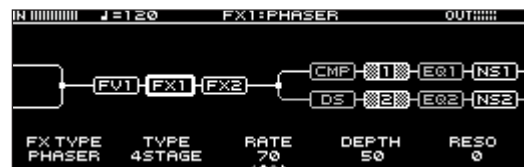
2. [SELECT] つまみを回して、移動したいブロックを選びます。

3. [SELECT] つまみを押しながら回します。

選ばれたブロックが左右に移動します。

[SELECT] つまみを反時計方向に回すと、ブロックが左に移動します。[SELECT] つまみを時計方向に回すと、ブロックが右に移動します。

※ 画面の例は、FX1 ブロックを右に移動しています。



コントロール・アサインを設定する (CONTROL ASSIGN)

トップ・パネルの [▼]、[▲]、[CTL1] スイッチと、リア・パネルの CTL2,3/EXP1 端子、CTL4,5/EXP2 端子に接続するエクスプレッション・ペダルやフットスイッチには、さまざまな機能を割り当てることができます。

※ 詳しくは『VG-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

※ 割り当てた機能により、トップ・パネルの [▼]、[▲]、[CTL1] スイッチの LED が点灯・点滅します。

コントロール機能を設定する (CONTROL FUNCTION)

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。



2. [1] つまみを押します。

CONTROL/ASSIGN 画面が表示されます。



3. [1] つまみを押します。

CONTROL FUNCTION 画面が表示されます。



4. [SELECT]、または [1] つまみを回して、設定項目を選びます。

選択項目が縦に移動します。

選んだ項目の設定が変更可能になります。

5. [2] ~ [5] つまみを回して、各スイッチの選択項目の設定値を変更します。

必要に応じて [◀] [▶] ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

※ フットスイッチ、エクスプレッション・ペダルの機能は、メモリーごとに設定する必要がありますが、PREF (PREFERENCE) を「SYSTEM」に設定すると、すべてのメモリーで共通の機能として使うことができます。

アサイン機能を設定する (ASSIGN SETTING)

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。



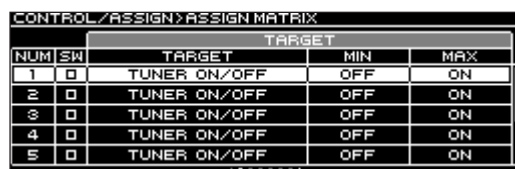
2. [1] つまみを押します。

CONTROL/ASSIGN 画面が表示されます。



3. [2] つまみを押します。

ASSIGN SETTING 画面が表示されます。



4. [SELECT]、または [1] つまみを回して、設定項目を選びます。

選択項目が縦に移動します。

選んだ項目の設定が変更可能になります。

5. [SELECT]、または [1] つまみを押して、SW をオンにします。

6. [1] ~ [5] つまみを回して、パラメーターを設定します。

必要に応じて [◀] [▶] ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

SOURCE で、操作するペダルや MIDI メッセージなどを設定します。

※ TARGET が表示されているときに [2]、[3] つまみを押すと、パラメーターがリスト表示されます。

メモリーを保存する（WRITE）

エディットした内容を保存したい場合は、以下の手順でメモリーに保存してください。

メモリーを保存しないと、電源を切ったり、メモリーを切り替えたりしたときにエディットした内容が失われます。

1. [EXIT] ボタンと [▶] ボタンを同時に押します。

WRITE 画面が表示されます。



2. [1] つまみを押します。

MEMORY NAME 画面が表示されます。



3. [1] つまみを回して、保存先のメモリー番号を選びます。

[3] ～ [5] つまみと、[SELECT] つまみで、名前を変更することができます。

名前を付けるには？

[SELECT] つまみでカーソルを移動して、[5] つまみで文字を変更することで、メモリー名を変更することができます。

操作子	動作
[3] つまみを回す	文字種選択
[3] つまみを押す	1 文字削除（デリート）
[4] つまみを回す	小文字・大文字
[4] つまみを押す	1 文字挿入（インサート）
[5] つまみを回す	文字の変更
[SELECT] つまみを回す	カーソルの移動

4. [SELECT] つまみを押します。

メモリーが書き込まれます。

WRITE MENU の機能一覧

メニュー	機能
WRITE	作ったメモリーを保存します。
EXCHANGE	メモリーを入れ替えて、メモリーの並びを変えることができます。
INITIALIZE	メモリーの各エフェクトを標準的なセッティングにすること（初期化）ができます。最初からメモリーを作りたいときに便利です。
INSERT	全メモリーのどの位置にもメモリーを挿入（インサート）することができます。 たとえば、メモリー U01-1 を U02-1 にインサートさせると、メモリー U02-1 以降はメモリー番号が1つ後ろにシフトします。（メモリー U02-1 は U02-2 になります）。

エディット編：MENU

MENU の基本操作

VG-800 全体で共通の設定をします（システム・パラメーター）。

※ 各パラメーターについて、詳しくは『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。



※ PAGE [◀] [▶] ボタンで、さらに項目を表示させることができます。



2. [1] ～ [5] つまみを押して、設定したい項目を選びます。

サブ・メニューが表示されます。

※ 画面の例は、MIDI のサブ・メニューです。



3. [1] ～ [5] つまみを押して、設定したい項目を選びます。

4. [1] ～ [5] つまみや [SELECT] つまみを回して、パラメーターの選択や設定値を変更します。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ パラメーターの選択方法や、設定値の変更方法は、項目ごとに異なります。詳しくは『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

[1] ～ [5] つまみに好みのパラメーターを割り当てる（KNOB SETTING）

プレイ画面が表示されているときに [1] ～ [5] つまみで操作するパラメーターを割り当てます。

1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [KNOB] を選びます。



2. [1] ～ [5] つまみを回して、各つまみに割り当てるパラメーターを設定します。



※ [1] ～ [5] つまみを押すと、パラメーターがリスト表示されます。



3. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

ディスプレイのコントラスト（明るさ）を調節する

ディスプレイの明るさを調節することができます。

1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [OTHER] を選びます。



2. [1] つまみで、コントラストを調節します。



メモリーの切り替えかたを選ぶ

VG-800 は 2 つの方法でメモリーを切り替えることができます。

【▼】スイッチと【▲】スイッチでメモリーを順番に切り替える方法と、メモリー 3 つをまとめた「バンク」と 1 ～ 3 の番号（ナンバー）の組み合わせでメモリーを切り替える方法があります。

1. [MENU] → [PLAY OPTION] を選びます。



2. [1] つまみを回して、モードを選びます。

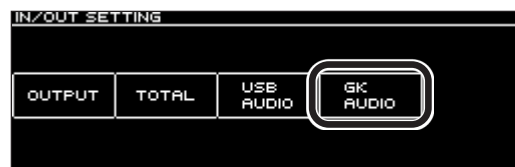


設定値	説明
UP/DOWN	本体に保存したメモリーを順番に切り替えるモードです。 【▼】スイッチを押すと、メモリーが1つ前に切り替わります。 【▲】スイッチを押すと、メモリーが1つ先に切り替わります。
BANK/NUM	本体に保存した 3 つのメモリーを切り替えるモードです。 【▼】スイッチを押すと、バンク内のメモリー 1 番に切り替わります。 【▲】スイッチを押すと、バンク内のメモリー 2 番に切り替わります。 【CTL1】スイッチを押すと、バンク内のメモリー 3 番に切り替わります。 【▼】と【▲】スイッチを同時に押すと、バンクが1つ前に切り替わります。 【▲】と【CTL1】スイッチを同時に押すと、バンクが1つ先に切り替わります。

シリアル GK 端子を使ってオーディオ信号を送受信する（GK AUDIO）

VG-800 からの出力サウンド（ステレオ出力）をもう一台の VG-800 などのシリアル GK 機器に送ったり、別のシリアル GK 機器から送られてきたオーディオ信号と本機のサウンドをミックスしたりすることができます。

1. [MENU] → [IN/OUT SETTING] → [GK AUDIO] を選びます。



2. [1] ～ [3] つまみを回して、パラメーターを設定します。

パラメーター	設定値	説明
AUDIO MODE	GK AUDIO の信号の流れを選びます。	
	OFF	GK AUDIO を使用しません。
	MIX	本機の GK IN 端子に入力されたシリアル GK 機器のオーディオ信号と本機のステレオ出力をミックスします。ミックスしたオーディオ信号は、本機の GK OUT 端子に接続したシリアル GK 機器へ送ります。
	OUT	本機のステレオ出力を本機の GK OUT 端子に接続したシリアル GK 機器へ送ります。
	THRU	本機の GK IN 端子に入力されたシリアル GK 機器のオーディオ信号を、本機の GK OUT 端子に接続したシリアル GK 機器へ送ります。
MIX LEVEL	0 ～ 200	本機の GK IN 端子に入力されたオーディオ信号の入力レベルを調節します。
OUT LEVEL	0 ～ 200	本機の GK OUT 端子から出力されるオーディオ信号の出力レベルを調節します。

メモ

メモリーごとに設定を変えることもできます。詳しくは『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

VG-800 の設定を、工場出荷時の設定に戻すことを「ファクトリー・リセット」といいます。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、一部の設定のみを戻すこともできます。

※「ファクトリー・リセット」を実行すると、工場出荷後に変更した設定や音色データ（メモリー）は失われます。必要なデータは専用ソフトウェアでパソコンなどに保存してください。

1. [MENU] → [FACTORY RESET] を選びます。



2. [1]、[5] つまみを回して、ファクトリー・リセットの範囲を指定します。



つまみ	パラメーター	設定値	説明
[1]	FROM	SYSTEM	システム・パラメーターの設定内容
[5]	TO	01-1 ~ 50-3	メモリー・ナンバー 01-1 ~ 50-3 の設定内容

3. [SELECT] つまみを押します。

確認画面が表示されます。



4. [5] つまみを押して、「OK」を選びます。

ファクトリー・リセットが実行されます。

ファクトリー・リセットを中止するときは、[4] つまみを押して、「CANCEL」を選びます。

ファクトリー・リセットが終了すると、プレイ画面に戻ります。

※「Executing…」などと表示されて処理が継続しているときは、絶対に電源を切らないでください。

オート・オフ機能を設定する

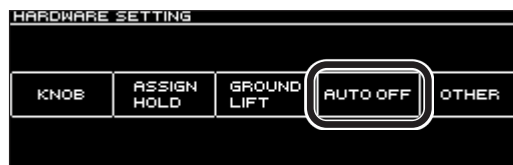
VG-800 には、自動的に電源を切る機能があります。

演奏や操作をやめてから 20 分（初期値）が経過すると、自動的に電源が切れます。

常に電源をオンにして使用したい場合は、以下の手順で設定してください。

ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。

1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [AUTO OFF] を選びます。



2. [1] ~ [5] つまみを押して、AUTO OFF 機能を設定します。



設定値	説明
20 MIN (初期値)	一定時間（20 分、1 時間、5 時間、10 時間）演奏や操作をしないと、自動的に電源が切れます。
1 HOUR	
5 HOURS	
10 HOURS	
OFF	電源は自動的に切れません。

「20 MIN」以外を選ぶと、確認画面が表示されます。



3. [5] つまみを押して、「OK」を選びます。

メモ

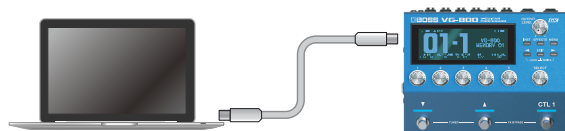
AUTO OFF 機能を「20 MIN」「1 HOUR」「5 HOURS」「10 HOURS」のいずれかに設定していると、電源が切れる 5 分前から、電源が切れるまでの時間が分単位で表示されます。残り 1 分を切ると、カウントダウンが始まります。操作や演奏をすると元の画面に戻ります。

パソコンに接続する

パソコンに接続する (USB COMPUTER 端子)

VG-800 を USB 経由でパソコンと接続すると、以下のことができます。

USB COMPUTER 端子



- パソコンとの間でデジタル・オーディオ信号を送受信
- 専用ソフトウェアを使って、パソコン上でメモリーの編集や管理
- 専用 Web サイトからメモリーをダウンロード

→ <http://bosstonecentral.com/>

※ 充電専用の USB Type-C® ケーブルは使用しないでください。
データ通信ができません。

USB ドライバーのインストール

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、USB ドライバーをインストールしてください。

詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうえでお使いください。

オーディオ・インターフェースとして使う

VG-800 の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を VG-800 の OUTPUT 端子から出力したりすることができます。

※ USB 接続時のオーディオ信号の流れと設定方法について、詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

※ 各ソフトウェアの入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

VG-800 専用ソフトウェアを使う

専用ソフトウェアは、ボスのホームページからダウンロードしてください。使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

専用ソフトウェアでは以下のことができます。

- 専用の Web サイトに公開されているメモリーを、簡単に本体にダウンロードすることができます。
- メモリーの設定を編集することができます。
- メモリーにメモリー名を付けることができます。
- メモリーの順番を並べ替えたり、入れ替えたりすることができます。
- メモリーと本体の設定をバックアップしたり、本体の設定をバックアップした設定に戻したりすることができます。

外部 MIDI 機器を接続する

VG-800 では、外部の MIDI 機器を接続して次の操作をすることができます。

VG-800 から外部 MIDI 機器を操作する

操作	説明
プログラム・チェンジ情報の出力	VG-800 でメモリーを選ぶと同時に、MEMORY MIDI で設定したプログラム・チェンジ情報、または選んだメモリー・ナンバーに対応したプログラム・チェンジ情報を送信します。 外部 MIDI 機器の音色を切り替えることができます。 詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。
コントロール・チェンジ情報の出力	[CTL1] スイッチ、CTL2,3/EXP1、CTL4,5/EXP2 端子に接続したフットスイッチやエクスプレッション・ペダル、ディバイデッド・ピックアップの [S1]、[S2] ボタン、GK ボリュームの操作を、コントロール・チェンジ情報として出力します。 外部 MIDI 機器のパラメーターなどをコントロールすることができます。 詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。
演奏情報の出力	ギター／ベースの演奏情報を、ノート情報やバンド情報として送信します。 接続したシンセサイザー音源などを鳴らすことができます。 GUITAR/BASS TO MIDI をお使いになるには、バンド情報などメモリーごとに設定するパラメーターの他、VG-800 全体に作用するシステム・パラメーター（GUITAR/BASS TO MIDI ON/OFF）を ON に設定してください。 詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

外部 MIDI 機器から VG-800 を操作する

できること	説明
メモリー・ナンバーの切り替え	外部 MIDI 機器からプログラム・チェンジ情報を受信します。外部 MIDI 機器から VG-800 のメモリーを切り替えることができます。 詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。
コントロール・チェンジ情報の受信	外部 MIDI 機器からコントロール・チェンジ情報を受信します。 外部 MIDI 機器から VG-800 のパラメーターをコントロールすることができます。 詳しくは、『VG-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

主な仕様

外形寸法	173（幅）× 135（奥行）× 63（高さ）mm（ゴム足を除く） 173（幅）× 135（奥行）× 65（高さ）mm（ゴム足を含む）
質量（AC アダプターを除く）	920g
付属品	AC アダプター（PSB-1U + AC コードセット） クイック・スタート 「はじめにお読みください」 チラシ ゴム足× 4 保証書
別売品	ディバイデッド・ピックアップ：GK-5（ギター用）、GK-5B（ベース用） シリアル GK ケーブル：BGK-3（1m）、BGK-15（4.5m）、BGK-30（9m） GK コンバーター：GKC-DA、GKC-AD フットスイッチ：FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5 TRS/MIDI コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。